

水産分野研究評価分科会の評価結果について

1. 評価日および場所

第1回 平成18年8月 1日(火) 於: 総合水産試験場
 第2回 平成18年8月25日(金) 於: 総合水産試験場

2. 審査案件

経常研究: 事前評価6件、途中評価1件
 連携プロジェクト研究: 事前評価1件(コメントのみ)

3. 分科会委員

氏名	役職	備考
橘 勝康	長崎大学水産学部 教授	委員長
萩原 篤志	長崎大学大学院 生産科学研究科 教授	副委員長
池畑 健次	長崎県漁業協同組合連合会 指導部長	
久保 博之	(株)長崎経済研究所 代表取締役	
田嶋 猛	太平洋貿易(株) 代表取締役 NPO法人 アカ加チャネットワーク 理事長	
谷川 昭夫	長崎漁港水産加工団地協同組合 専務理事	
萩原 篤志	長崎大学大学院 生産科学研究科 教授	
馬場 徳寿	(独)水産総合研究センター 西海区水産研究所 業務推進部長	
平野 重美	全国漁青連顧問、針尾漁協理事	

4. 総合評価

総合評価段階は下表のとおりであった。

評価の対象			評価段階別内訳				
時点	種類	テーマ数	1	2	3	4	5
事前	経常	6				1	5
途中	経常	1					1

総合評価段階

(事前評価)

- 1: 不相当であり採択すべきでない。
- 2: 大幅な見直しが必要である。
- 3: 一部見直しが必要である。
- 4: 概ね相当であり採択してよい。
- 5: 相当であり是非採択すべきである。

(途中評価)

- 1：全体的な進捗の遅れ、または今後の成果の可能性も無く、中止すべき。
- 2：一部を除き、進捗遅れや問題点が多く、大幅な見直しが必要である。
- 3：一部の進捗遅れ、または問題点があり、一部見直しが必要である。
- 4：概ね計画どおりであり、このまま推進。
- 5：計画以上の進捗状況であり、このまま推進。

研究テーマ別評価段階一覧表

時点	種類	研究テーマ名	研究機関	総合評価段階	
				総合評価	段階
事前	連携	イカ肉の高度有効利用に関する研究	総合水産試験場	5	-
事前	経常	諫早湾における貝類の持続的生産に向けた技術開発研究	総合水産試験場	5	4
事前	経常	塩干品高品質化原料調査研究事業	総合水産試験場	5	5
事前	経常	水産物加工流通技術強化支援事業	総合水産試験場	5	5
事前	経常	有害赤潮プランクトン等監視調査事業	総合水産試験場	5	5
事前	経常	養殖安定化技術開発試験	総合水産試験場	5	5
事前	経常	養殖魚疾病総合対策事業	総合水産試験場	5	5
途中	経常	沿岸漁業開発調査事業	総合水産試験場	4	5

5. 研究テーマ別コメント

(1) 連携プロジェクト研究(事前)

○「イカ肉の高度有効利用に関する研究」

必要性：新しい技術による豊富なイカ資源の有効利用を図る研究であり、必要性は非常に高い。

効率性：県の特許を有効活用するもので、関係機関も体制化されており、効率性は高い。関係機関と密接に連携をとりながら進め、他県に先がけた事業化を期待する。

有効性：本県独自の技術として大いに期待でき、業界が有する現有設備で応用可能であり有効性は高い。新商品開発などを同時並行して、商品化も推進して欲しい。

総合評価：全国に先がけた研究であり研究の意義は大きい。ぜひ取り組むべきプロジェクトである。コスト面にも注意しながら、早く研究目標が達成されることを期待する。また、研究と並行して、長崎特産としての新商品開発・事業化を並行して進めることを希望する。

(2) 経常研究(事前)

「諫早湾における貝類の持続的生産に向けた技術開発研究」

必要性：諫早湾の貝類の資源低迷の状況から、必要性は高い。

効率性：他県や(独)水産総合研究センターと連携が行われる予定であり、情報交換を密にしながら進めて欲しい。

有効性：諫早湾における貝類の資源低迷は、長く続いており、研究の難しさもあろうが、関連の他の事業との連携による効果とともに産業化を見据えた成果を期待している。

総合評価：必要な事業であり、途中の進捗状況と成果の見込みを把握しながら、効率的な貝類の資源維持の技術開発の進展を期待する。

「塩干品高品質化原料調査研究事業」

必要性：本県の加工品のブランド化の推進上、科学的データによる裏づけは重要であり、必要性は高い。

効率性：計画に特に問題はないが、魚の漁獲状況や発育度合いなどにも注意しながら進めてほしい。可能であれば、研究従事者や対象魚種の拡大も今後検討願いたい。

有効性：本県の水産加工業の振興とブランド化の推進に大きく期待できる。消費者の視点にも注意しながら進めて欲しい。

総合評価：必要な事業であり、本県の塩干品のブランド化への貢献とともに、発展的に県の水産加工産全般の振興に寄与できることを期待している。

○「水産物流通加工技術強化支援事業」

必要性：県内水産加工業界の支援として貢献度も高く、必要性は高い。

効率性：加工業界と一体となっで行なう事業であり、効率性は

高い。

有効性：現場用の加工マニュアルや新規製品開発の支援であり、技術移転による成果も期待される。過去商品化されているものも分析しながら、より一層の成果に役立ててほしい。

総合評価：必要な事業であり、本事業の仕組みや成果の状況等のPRを行いながら、本県水産加工業の発展のためにぜひ取り組んで欲しい。

○「有害赤潮プランクトン等監視調査事業」

必要性：赤潮の漁業被害の対策上有益な研究であり、必要性は高い。

効率性：計画に特に問題はないが、赤潮の発生過程とともに終息過程にも注意されるとともに、発生時の対策も念頭において研究を進めて欲しい。

有効性：現場への効果的な普及や有益な事例報告等も、より積極的に行って欲しい。

総合評価：必要な事業であり、成果を期待するとともに、現場へは、わかりやすく、かつ早めの普及啓蒙や技術移転について配慮しながら進めて欲しい。

○「養殖安定化技術開発試験」

必要性：養殖業界では新養殖魚種と効率的な飼育方法に対するニーズは高く、本事業の必要性は高い。

効率性：大学等と連携されて進められるので、密な連携を期待するとともに、他県の試験データや県内の情報等も参考にしながら進めて欲しい。

有効性：ニーズも高く、新養殖魚種の開発や適正給餌法についての開発の成果を期待している。普及指導センターなどの関係機関等と連携して効率的に普及を進めながら、成果の活用を図ってほしい。

総合評価：必要な事業であり、新魚種の養殖技術では、魚種の絞りこみなども配慮しながら、早期の成果を期待する。養殖現場での餌以外の環境要因も考慮しながら環境保全と効率的な養殖技術の開発に期待している。

○「養殖魚疾病総合対策事業」

必要性：生産額の1割程度が疾病による被害額であり、養殖経営上、研究の必要性は高い。また、食の安全安心にお

いての面からも必要な事業である。

効 率 性：大学や薬品メーカーなどとも連携しており、実用性を考慮した研究体制であるが、テーマが多いので、関係機関の連携を密にとりながら事業を進めて欲しい。

有 効 性：重要な対象疾病が多いようであるので、研究の重点化等の効率性に配慮しながら、成果があがることを期待する。

総合評価：必要な事業であり、共同研究などによる効率性に配慮した研究を期待し、早急な現場への波及効果を期待する。

(3) 経常研究(途中)

○「沿岸漁業開発調査」

必 要 性：沿岸漁業の現場と密接な関係をもつ調査や研究であり、必要性は高い。

効 率 性：成果を見据えた具体的なテーマ設定で評価するが、他県の情報や関係機関の情報を取り入れながら、より効率的に進めて欲しい。定置網の漁場診断は、診断結果によって現場のその後の成果を把握しながら今後の調査研究に反映しながら進めて欲しい。

有 効 性：成果は過去現場で生かされており、また、現在の研究も有効性が期待できる。過去の具体的な効果のデータを整理して、今後の計画にさらに生かすようにして欲しい。

総合評価：燃油高等厳しい漁業環境の中で、沿岸域の漁業の振興、漁獲の効率化、新しい漁業資源の発掘において今後も成果を期待する。今後は、成果の状況も踏まえ、重点化等も検討しながら進めて欲しい。

6. 分科会総評

○研究テーマによっては、研究項目が多いものがある。人員、期間にも限りがあるので、重要性や進捗状況に応じた成果見込み等を勘案し、研究途中での重点化等を行いながら、効率的に進めて欲しい。

○水産業の振興に必要な研究内容であるが、消費者ニーズの視点にもより注意しながら計画を推進いただければ、いっそうの効果がでてくるものと思われる。

○計画されている中にある水産資源や海洋環境などの調査や研究などは、水産業の基盤となるものであり、直接の効果は現れにくい点も

あるかもしれないが、公共機関の研究として、また、公益性の観点から、重要なものであり、今後とも調査・研究に推進してもらいたい。一方、製品化等を目指す研究については、コスト意識を十分注意しながら進めていくようにしてほしい。

○テーマによっては水産試験場の各部署にまたがるものもあることから、有機的な連携をより密にしながら進めてほしい。

(参考)

水産分野研究評価分科会評価結果

	研究テーマ名	項目	平均	評価段階
事前評価	諫早湾における貝類の持続的生産に向けた技術開発研究	必要性	4.7	4
		効率性	4.1	
		有効性	4.1	
		平均	4.3	
	塩干品高品質化原料調査研究事業	必要性	4.7	5
		効率性	4.7	
		有効性	4.7	
		平均	4.7	
	水産物加工流通技術強化支援事業	必要性	4.7	5
		効率性	4.7	
		有効性	4.7	
		平均	4.7	
	有害赤潮プランクトン等監視調査事業	必要性	4.7	5
		効率性	4.7	
		有効性	4.7	
		平均	4.7	
	養殖安定化技術開発試験	必要性	5.0	5
		効率性	4.4	
		有効性	4.4	
		平均	4.6	
	養殖魚疾病総合対策事業	必要性	5.0	5
		効率性	4.7	
		有効性	5.0	
		平均	4.9	
途中評価	沿岸漁業開発調査	必要性	5.0	5
		効率性	4.7	
		有効性	4.1	
		平均	4.6	